

県内観光エリア別 令和6年の主な増加要因

令和5年3月策定の第5期神奈川県観光振興計画において設定している7つのエリアに分けて分析を行いました。

- **横浜・川崎エリア**では、横浜市では、大規模イベント時に開催事業者と市が連携した様々な回遊施策による宿泊客の増加などにより、754 万人増加し、過去最高の入込観光客数となりました。川崎市では、「川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム」等への来訪者の増加などにより、132 万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 885 万人増加しました。
- **箱根エリア**では、小田原市では、「小田原城址公園」等への来訪者の増加などにより、5万人増加し、過去最高の入込観光客数となりました。箱根町では、「大涌谷・芦ノ湖」等への来訪者の増加などにより、80 万人増加しました。湯河原町では、「奥湯河原」への来訪者の増加などにより、14 万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 100 万人増加しました。
- **湘南エリア**では、平塚市では、「平塚市総合公園」等への来訪者の増加などにより、60 万人増加しました。鎌倉市では、「鶴岡八幡宮」等への来訪者の増加などにより、366 万人増加しました。藤沢市では、「湘南海岸・江の島」への来訪者の増加などにより、79 万人増加し、過去最高の入込観光客数となりました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 479 万人増加しました。
- **丹沢大山エリア**では、秦野市では、「ヤビツ峠」等への来訪者の増加などにより、7万人増加し、過去最高の入込観光客数となりました。厚木市では、「飯山」等への来訪者の増加などにより、36 万人が増加しました。愛川町では、「県立あいかわ公園」等への来訪者増加などにより、1万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 53 万人増加しました。
- **相模湖・相模川流域エリア**では、大和市では、「大和市民まつり」等への来訪者の増加などにより、45 万人増加しました。海老名市では、「おだきゅう Family Fun フェスタ」等の開催などにより、12 万人増加しました。綾瀬市では、「日米親善春祭り」等への来訪者数の増加などにより、5万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 56 万人増加しました。
- **三浦半島エリア**では、横須賀市では、「ヴェルニー公園」等への来訪者の増加などにより、141 万人増加し、過去最高の入込観光客数となりました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 116 万人増加しました。

- **足柄エリア**では、南足柄市では、「春木径・幸せ道桜まつり」等への来訪者の増加などにより、7万人増加しました。山北町では、「やまきた桜まつり」等への来訪者の増加などにより、12万人増加しました。開成町では、「開成町あじさいまつり」等への来訪者の増加などにより、4万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は4万人増加しました。